

千葉県立中央博物館
令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務委託
企画提案（プロポーザル）募集要項

1 業務名

千葉県立中央博物館令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務委託

2 委託業務の内容

「千葉県立中央博物館令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務委託仕様書」に記載したとおり。

3 業務の実施方法

企画提案を募り、審査・選考を経て1団体を決定し、業務を委託する。

4 応募資格

次の全ての要件を満たすこととする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 千葉県物品等入札参加資格（委託）を有する者であること。
- (3) 応募の日から審査完了の日までの間に、千葉県の物品等一般競争入札参加者及び指名競争入札参加者の資格等に基づく入札参加資格の停止を受けていない者であること。
- (4) 応募の日から審査完了の日までの間に、千葉県物品等指名競争入札参加者指名停止等基準（昭和57年12月1日制定）に基づく指名停止及び物品調達等の契約に係る暴力団等排除措置要領に基づく入札参加除外措置を受けていない者であること。
- (5) 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体でないこと。
- (6) 審査委員会の委員でないこと。
- (7) 過去5年度間に博物館法（昭和26年法律第285号）第2条及び第11条に規定された登録博物館又は博物館法第31条に規定された博物館相当施設で展示面積が500㎡以上の常設展示又は特別企画展示の設計施工および広報業務実績を有していること。

5 応募期間等

(1) 応募期間

令和6年11月15日（金）から令和6年12月13日（金）正午まで（必着）

(2) 応募方法

持参または郵送（FAX、メールでの応募は不可）

持参する場合は、応募期間のうち休館日を除く午前9時から午後5時までに提出してください。(終了日は正午まで。郵送の場合は終了日必着)

(3) 提出物

企画提案書(正本1部、副本6部)

※「8 提案書作成上の注意」に沿って作成すること。

(4) 提出先

千葉県立中央博物館 展示課 宛

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

6 説明会

応募を検討している企業・団体等を対象として、次の日程で開催する。展示会場の案内及び展示資料画像等の配布を行うため、応募を予定する団体は原則として出席すること。なお、説明会に出席しない場合でも応募できるものとするが、資料を送付するため、必ず下記あてに連絡すること。

(1) 日時

令和6年11月22日(金) 午後2時から

(2) 場所

千葉県立中央博物館 会議室

(3) 申し込み

令和6年11月21日(木) 正午まで

送付先 千葉県立中央博物館 展示課 宛

メール tenji-t@chiba-muse.or.jp

電話 043-265-3111

* 件名「【説明会】特別展設計施工及び広報」の文字を入れること。

* メール送信後、電話にて到達確認をすること。

7 質問の受付

本件に関する質問については、質問票(様式第1号)をメールにて受け付ける。ただし、提案の状況、審査委員名等に関する質問は受け付けない。

(1) 期間

令和6年11月15日(金) から令和6年11月29日(金) 正午まで

(2) 送付先

千葉県立中央博物館 展示課 宛

メール tenji-t@chiba-muse.or.jp

電話 043-265-3111

* 件名「【質問】特別展設計施工及び広報」の文字を入れること

*メール送信後、電話にて到達確認をすること。

(3) 県ホームページおよび中央博物館ホームページへの掲載

本件に関する質問及びそれに対する県の回答については、県ホームページ及び中央博物館ホームページに掲載する。

8 提案書作成上の注意

(1) 提出部数 正本1部、副本6部

(2) 提案書に記載する内容

ア 表紙 (A4判1枚：任意様式)

宛名「千葉県立中央博物館館長 稲村 弥」

タイトル「千葉県立中央博物館令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務委託」
企画提案書、提出年月日、住所(所在地)、氏名(社名)、代表者の氏名・肩書きを
記入し、正本には社印、代表者印を押印すること。

イ 提案概要 (A4判4枚以内：任意様式)

- ① 業務実施方針・実施体制
- ② 特別展の展開案
- ③ 広報計画案
- ④ 業務スケジュール

ウ 団体概要 (様式第2号)

エ 過去における類似業務実績 (A4判：任意様式)

- ・下記に示す2種の類似業務実績を挙げ、業務概要(発注部署・事業年度・成果等)を記載する。
- ・実績はそれぞれ最大3件までとし、概ね5年以内のものとする。
- ・記載する内容については、県からの受注業務に限定されない。

- ① 常設展示面積500㎡以上の展示設計施工の実績
- ② 広報業務実績(指定管理業務等の運営業務に広報業務が含まれる場合も該当)

オ 見積書 (A4判：任意様式)

- ・仕様書の業務内容及び本企画提案の内容を実施するために必要な全ての費用を算定する。
- ・見積書は、業務ごとに詳細な内訳を記載すること。

(3) 提案にあたっての留意事項

- ・提案内容は、採用された場合に、受託者が責任をもって実現できるものであること。
- ・独自提案の実施に要する経費は、本業務の委託料に含むこととする。

9 審査・選考方法

(1) 審査委員会において、原則として、提案書及びプレゼンテーション・質疑応答によ

る審査を行い、その中で最も優れた提案をした団体を委託先候補に選定する。

(2) 審査委員会は12月下旬に実施予定である。

(3) 審査結果は、応募者全員に郵送で通知する。

(4) 評価基準

審査にあたっては、以下の評価基準により総合的に評価する。(配点合計100点)

評価項目	評価基準	配点
実施体制	・全体の統括責任者、事業担当者などの事業実施体制、役割分担等、責任の所在が示されているか。	10
業務実績	・本特別展の設計施工業務を効率的、効果的かつ確実に遂行するために必要な同種の業務実績があるか。	10
	・博物館の広報業務を効率的、効果的かつ確実に遂行するために必要な同種の業務実績があるか。	10
理解度・適格性	・本特別展の目的・内容を十分に理解し、明確な実施方針と、具体的かつ実現可能なスケジュールを提案しているか	15
企画提案力	・本特別展のコンセプトを十分に理解し、来館者にとって魅力的な展示手法が提案されているか。 ・ユニバーサルデザイン等の配慮がされているか。 ・展示全体に統一感をもたせているか。	20
	・本特別展の来場者増加につながる広報戦略及び広報手段の展開案が提案されているか。 ・展示と一貫性を持った広報が提案されているか	20
経費の妥当性	・所要経費・算定根拠が明確に示されていて、合理的な内容であるか。 ・費用対効果に十分配慮した内容であるか。	5
独自提案	・提案された展示内容や広報戦略が独自性に富んでいるか。	10
合計		100

10 提案の無効に関する事項

次の一つに該当するときは、その者の提案は無効とする。

(1) 応募資格の無い者が提案したとき。

(2) 所定の期限及び提出先に提案書を提出しないとき。

(3) 同一の企画提案募集に対して、2以上の提案をしたとき。

(4) 同一の企画提案募集に対して、自己のほか、他人の代理人を兼ねて提案したとき。

(5) 提案に関連して談合等の不正行為があったとき。

(6) 見積書の金額、住所、氏名、印影、若しくは重要な文書の誤脱、又は認識しがたい見積又は金額を訂正した見積をしたとき。

- (7) 審査委員会を欠席したとき。
- (8) その他、審査を行うにあたって、県が無効であると判断したとき。

1 1 委託契約

審査により選定した最優秀提案の提出者を委託先候補とし、詳細な業務内容及び契約条件等について協議、合意したのちに、委託契約を締結する。

なお、協議が整わなかった場合は、次点者と協議を行うものとする。

(1) 契約期間 契約締結日から令和7年10月31日(金)まで

(2) 契約にあたっての主な留意事項

ア 提案書及び審査委員会は、提案内容及び応募団体の審査・選考のために 行うものであり、審査結果は提案内容をそのまま了承するものではなく、必要に応じて内容の一部を変更する場合がありますので留意すること。

イ 業務委託仕様書は、提案された企画内容をもとに県が作成する。

ウ 契約にあたっては、契約金額の百分の十以上の契約保証金を納めること。なお、契約保証金は免除する場合があります。

エ 業務の全部を第三者に再委託してはならない。なお、業務の一部の再委託については、高い事業効果が見込めると県が判断した場合は認めるものとする。

(3) 委託料

委託料の上限16,835,000円(消費税及び地方消費税込み)

(ただし、令和6年度の支払上限額は0円とする)

1 2 注意事項

- (1) 企画提案に要する経費は、全て応募者の負担とする。
- (2) 提出された書類等は返却しない。
- (3) 提出された書類等は、千葉県情報公開条例(平成12年千葉県条例第65号)に基づき開示する場合があります。
- (4) 提出された書類等は、必要に応じて複写する。
- (5) 使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(様式第1号)

令和 年 月 日

千葉県立中央博物館
展示課 宛て

質問者

住所 〒 _____

団体名 _____

代表者氏名 _____

担当者所属・氏名 _____

電話番号 _____

FAX番号 _____

e-mail _____

質 問 票

千葉県立中央博物館令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務委託に係る企画提案募集について、以下のとおり質問します。

番号	質 問 内 容

(提出先) 千葉県立中央博物館 展示課 宛

メール tenji-t@chiba-muse.or.jp

電話 043-265-3111

※送付後に電話(043-265-3111)で到着確認して下さるようお願いいたします。

(様式第2号)

団 体 概 要

団体名 (商号等)			
所在地	〒		
代表者氏名			
設立	年 月 日		
団体の目的・事業内容			
資本金 売上高 職員・社員数等			
ホームページ	有	URL	無
連 絡 担当者	<small>ふりがな</small> 氏 名		
	住 所	〒	
	電話・FAX		
	E-mail		
千葉県入札参加資格 (委託)の決定通知	年 月 日		

本仕様書は、千葉県が委託する千葉県立中央博物館令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務の企画提案募集に当たり、業務の概要として、業務内容及び要求事項、確認事項等を示すものである。なお、最終的な業務委託仕様書については、事業受託者決定後に協議の上、千葉県が制作する。

千葉県立中央博物館 令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務委託 仕様書

1 適用範囲

本仕様書は、千葉県（以下「委託者」という。）が発注する「令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務」（以下「業務」という。）の委託に付す場合において適用される主要事項を示すものである。この仕様書は業務の概要を示すものであるから、これに定めのない事項であっても委託者が必要と認め、指示する事項については、受託者はこれを行わなければならない。

2 名称

千葉県立中央博物館令和7年度特別展展示設計施工及び広報業務委託

3 目的

千葉県立中央博物館令和7年度特別展は、三方を海に囲まれた千葉県の魅力を深く伝えるため、東京湾から安房、夷隅、九十九里、銚子まで巡り、郷土料理等に使われる海の幸について自然誌の視点で展示を行うものである。対象は親子連れを想定している。

本業務は、来館者が展示内容を十分に理解し、魅力的で分かりやすい会場づくりをするために、展示設計施工を行うとともに、より多くの来館者に来てもらうための広報物等を制作する業務である。

4 契約期間

契約締結の日から令和7年10月31日（金）まで

5 展示施工を行う場所及び範囲（別紙1参照）

千葉県立中央博物館

第1企画展示室、第2企画展示室、エントランスホール（2階ホール）、廊下

展示対象面積：約1,000 m²

6 提案依頼内容

（1）展示設計施工

- ・メインターゲットである親子連れが展示に興味をもつような特別展のタイトルを提案すること。
- ・開催要項案（別紙2）に基づき、千葉県の海の幸に関する多面的な情報（生態、環境問題、歴史、食文化等）を来館者がわかりやすく理解できる展示を提案すること。
- ・ユニバーサルデザイン（多言語化を含む）に配慮し、視覚的・体験的に楽しめる展示を提案すること。

（2） 広報

- ・展示テーマ及びコンセプトを視覚的に訴求する、キービジュアルを提案すること。
なお、キービジュアルには展示ロゴやキャッチコピー、イメージキャラクターを含む。
- ・「7 業務内容（2）」で指定した業務以外に、本展の認知度向上と誘客促進につながる方策を含めた広報計画を提案すること。

7 業務内容

（1） 展示設計施工

ア 展示設計

開催要項（別紙2）及び想定される展示資料リスト（別紙3）を基に、展示手法、展示装置、ユニバーサルデザイン（多言語化を含む）、安全性に配慮した観覧者導線等の検討を行い、展示設計図を作成する。なお、展示什器については、基本的に発注者が所有するもの（別紙4）を使用することとするが、不足が有る場合は受託者が制作を行う。また、発注者との協議の上で、博物館が所有する展示什器を加工することも可とする。

イ 展示制作

展示設計に基づき、特別展開催に向けて制作（レプリカの作成を含む）及び設置を行うとともに、会期中展示に不具合が生じた場合は適宜修正を行う。また、会期終了後に現場撤去及び原状復旧を行う。

ウ 展示図録

発注者から支給される原稿を用いて、加工・編集・デザイン・レイアウトし、印刷製本を行う。（B5 4色／48 ページ程度／1,000 部程度）

（2） 広報

特別展の魅力が伝わる広報・誘客ツール等を、発注者の事業計画等を考慮した適切なタイミングで効果的に組み合わせた宣伝広報によって誘客の促進を図ること。対象エリアは千葉県内および東京都東部を中心とする。下記、制作物の部数等については、発注者と協議して最終的に決定するものとする。

ア キービジュアルの作成

テーマ及びコンセプトを視覚的に訴求する、キービジュアルを作成すること。なお、キービジュアルには展示ロゴやキャッチコピー、イメージキャラクターを含む。

イ 広報計画作成

- ① 委託業務期間中の広報計画を作成すること。
- ② 広報計画には、チラシ・ポスターの掲示場所や誘客イベントの開催等、各ターゲットに向けた具体的な取組を記載すること。
- ③ 来場者数、認知度及び来場意向等、発注者と協議の上 KPI の項目を設定するとともに、KPI の達成に向けた具体的な手法を盛り込むこと。

ウ 広報誘客ツール作成

- ① 特別展にかかるチラシ・ポスターのデザイン及び印刷
 - ・チラシ：A4 版 両面カラー印刷／50,000 枚以上
納品の際には 100 枚ごとに紙を挟むものとする。
 - ・ポスター：B2 版 片面カラー印刷／200 枚以上
- ② 入場券のデザイン及び印刷
H160×W60mm（綴じしろ 40mm、1 冊 100 枚）想定／10,000 枚以上
一般、高校・大学生、区分なしの 3 種とする。一般、高校・大学生は券種ごとに通し番号を付す。詳細な仕様は受託者決定後に通知する。
- ③ 看板のデザイン
矢作トンネル東交差点付近の看板（縦 1,350×横 4,000mm）のデザインを制作する。
- ④ ウェブバナーの作成
チラシ・ポスターのイメージを踏襲して作成する。ウェブバナーは縦 243 ピクセル×横 470 ピクセル、縦 1500 ピクセル×横 630～1,000 ピクセルの 2 種とする。
- ⑤ ワークシートの作成
来館者が展示を楽しく学びながらまわれるようなワークシートを作成する。
A4 版 片面カラー印刷／5,000 枚以上
- ⑥ その他誘客促進を図ることができる効果的かつ実現可能な施策（例えば交通広告/道の駅・ショッピングモールでの掲出/SNS 等）を独自に提案すること。

(3) 事業報告書の作成

上記（1）、（2）の業務終了後、事業実施報告書を作成し、提出すること。

8 展示室内の作業期間

展示室内での設営及び撤収作業については下記の期間内に行うこと。ただし、具体的な作業日程については委託者と協議の上、決定する。

(1) 設営

令和7年6月下旬～令和7年7月11日(金)

(2) 撤収

令和7年9月24日(水)～令和7年10月5日(日)

9 成果品

(1) 内容

ア 展示物・展示会場装飾造作物及びそのデータ 一式

イ 展示パネル・展示室内外サイン及びそのデータ 一式

ウ キービジュアル、看板デザイン、ウェブバナー データ 一式

エ 図録・ポスター・チラシ・入場券・ワークシート 印刷物及びそのデータ 一式

オ 事業実施報告書 1部

カ その他事業者提案によるもの、及び必要に応じて委託者が求めるもの。

(2) 成果品等の帰属

委託業務の実施に伴い製作した資料及び成果品に係る著作権その他一切の権利は、委託者に帰属する。

(3) 成果品の不備

受託者の責任に帰すべき理由による成果品の不良箇所があった場合は、受託者は速やかに必要な訂正、補足等の措置を行うものとし、これに対する経費は受託者の負担とする。

10 経費

本業務の実施に関わる一切の経費は、委託料に含むものとする。

11 その他

(1) 本仕様書について、疑義が生じたとき又は定めのない事項や細部の業務内容については、その都度、受託者は委託者と協議を行う。

(2) 本仕様書の変更を必要とする場合には、あらかじめ委託者と協議の上、承認を得ること。

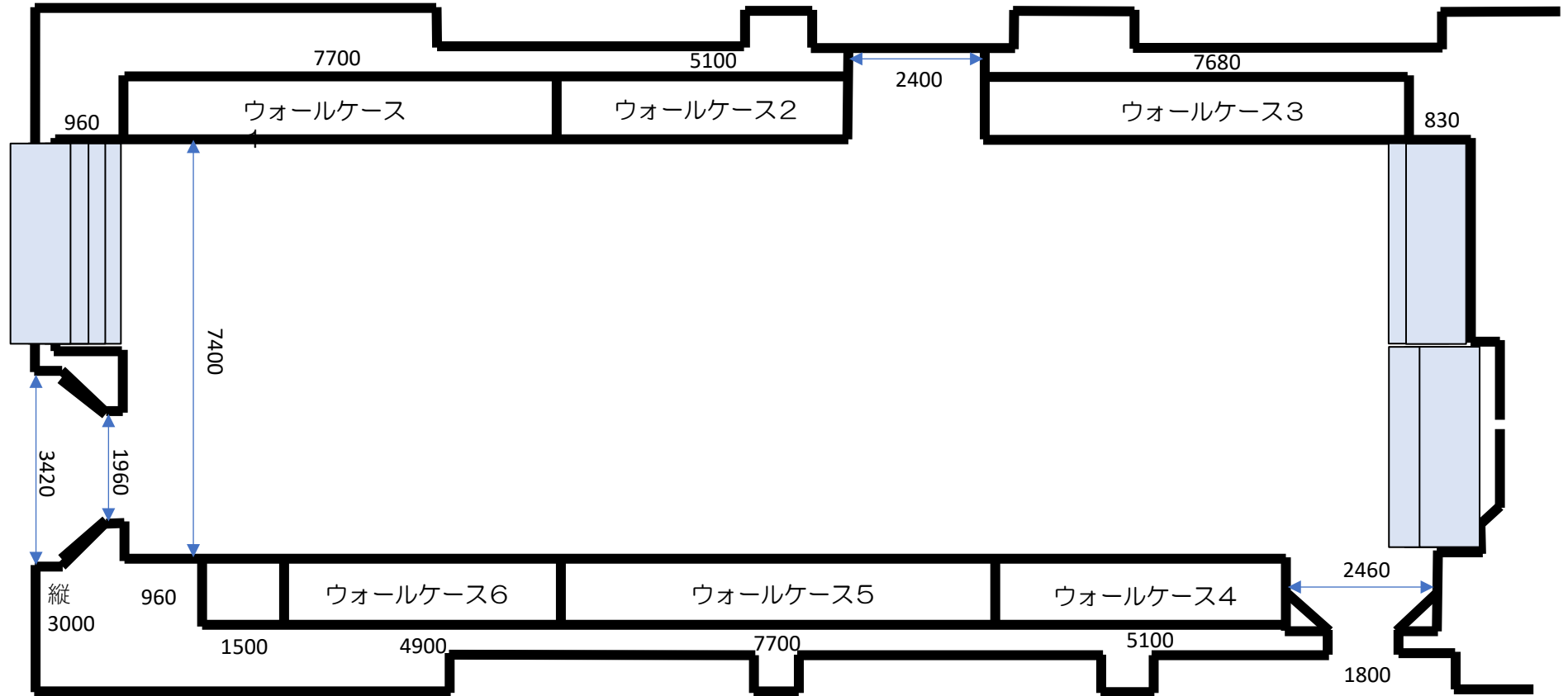
(3) 契約に当たり委託者と協議の上で、本仕様書の一部を変更する場合がある。

(4) 業務を行っていくなかで、当初予定していた進行に変更の必要が生じた場合には、その旨を担当職員に伝え、確認をとること。

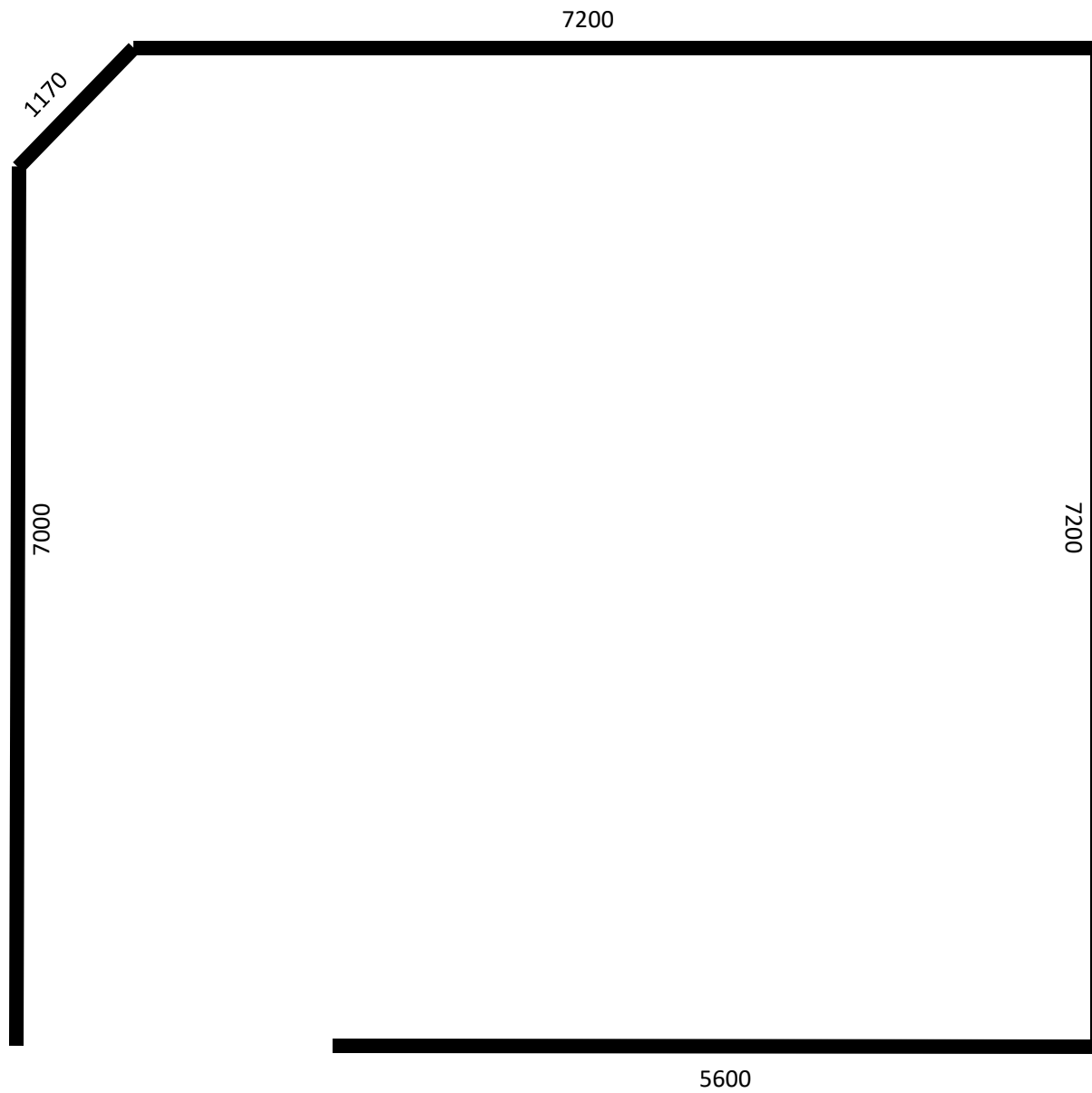
(5) 本業務を処理するために個人情報を取扱う場合は、個人情報及びプライバシーの保護に努めること。千葉県個人情報保護条例を遵守し、業務上知り得た個人情報等の秘密事項を他人に漏らしてはならない。本業務終了後も同様とする。

第1企画展示室図

別紙1-1



第2企画展示室図



第1企画展示室へ

1670 990 5290

700

房総の
地学展示室

11.5m

13.6m

15.5m

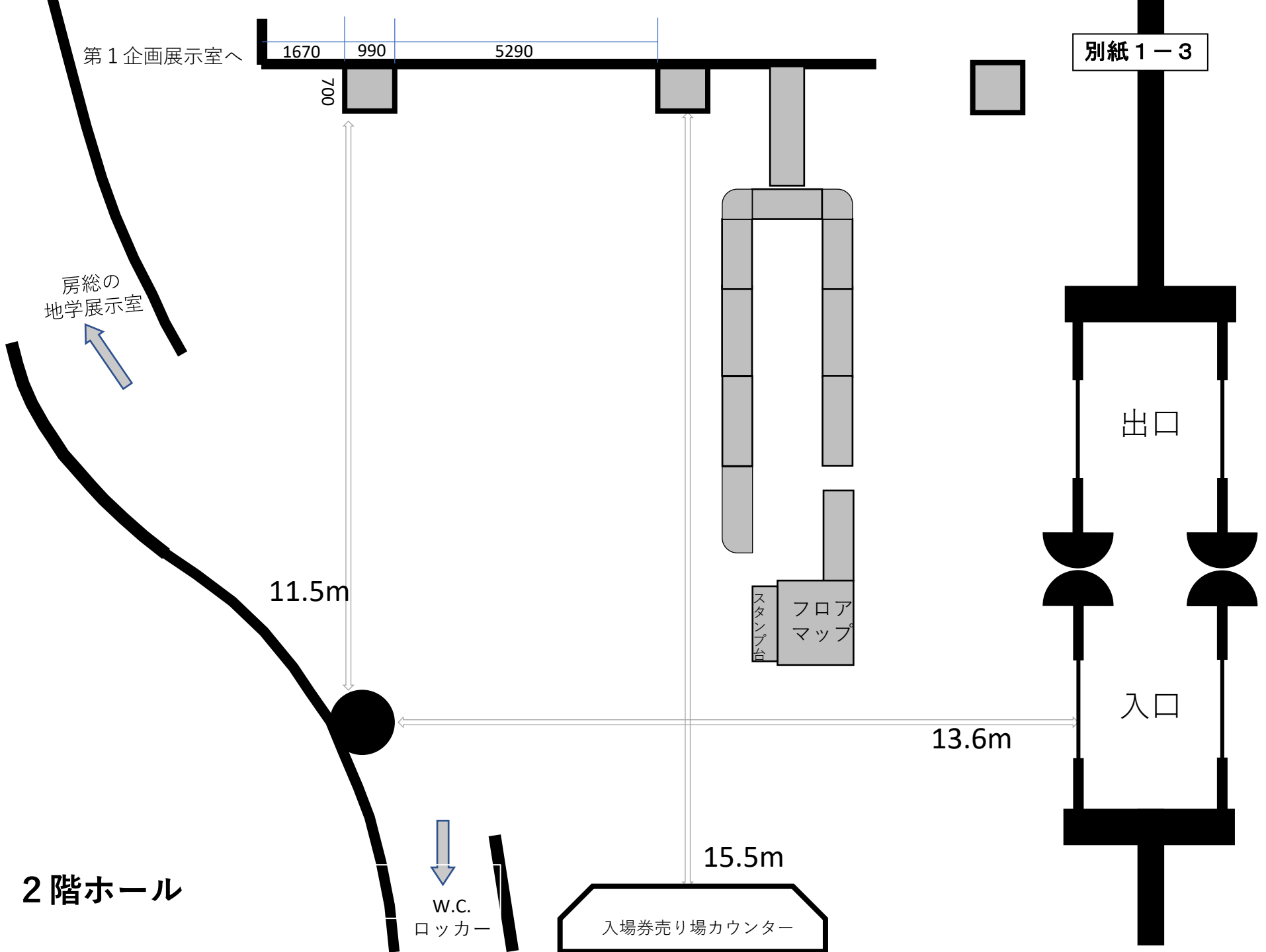
W.C.
ロッカー

入場券売り場カウンター

2階ホール

出口

入口



千葉県立中央博物館令和7年度 特別展
開催要項

- 1 タイトル 「海の幸 ～千葉の豊かな海と食文化～（仮称）」
- 2 開催期間 令和7年7月12日（土）～9月23日（火祝） 65日間
- 3 開催場所 中央博物館第1企画展示室・第2企画展示室・
企画展示室まわり廊下・2階エントランスホール・常設展示室
- 4 入場料 一般800円（640円）、高・大学生400円（320円）、
中学生以下・65歳以上は無料、（ ）内は20名以上の団体料金

5 趣 旨

三方を海に囲まれた千葉県には多様な海の姿があり、多様な生物が暮らしている。東京湾から安房、夷隅、九十九里、銚子までぐるりと巡り、郷土料理等に使われている海の食材を自然誌の視点で解説する。本展を開催することで、県民をはじめとした多くの方に、豊かな海の恵みで培われてきた千葉県の海の幸の魅力を伝え、千葉の食文化や漁業文化を知る機会を提供する。

6 対 象 親子連れ

7 展示構成と主な展示資料

<第1企画展示室> 当館所蔵の標本、漁撈資料、レプリカ（新規作成）及び館外からの借用資料

・導入

全体のテーマを紹介し、房総半島の海の豊かさを直感的に理解してもらうため、大型の地図等を使い、千葉県の海岸線、主な漁港、東京湾から銚子までの主な海の幸と料理の分布を示す。千葉県の海の幸が地域にどれだけ深く根付いているかを、簡潔に説明する。

・東京内湾

東京内湾は江戸時代から豊かな漁場として栄え、様々な魚介類や海苔などの特産物で知られている。本コーナーでは、東京湾での江戸時代に近江屋甚兵衛により始まった海苔養殖の歴史、江戸前寿司の源流となる新鮮な魚介類、潮干狩りでとられる貝類について紹介する。また、東京湾で増加している外来種のホンビノスガイに注目し、その食文化への影響も解説する。

・安房

安房地域は、暖流の影響で多様な魚介類が豊富であり、なめろうやさんが焼き等の伝統料理が知られている。また和田浦では全国でも少なくなったクジラ漁が行

われている。ここでは、捕鯨の歴史や、捕鯨文化の中で育まれてきたクジラを使った料理について紹介する。また、海女が活躍する安房地域の独特な漁法等も紹介する。さらに、鯖節の製造過程やそれを使った郷土料理を取り上げ、海の幸を生かした食文化について解説する。

- ・ 夷隅

全国で1位、2位の生産量を誇るイセエビをはじめ、アワビ、サザエやタコ等様々な海の幸が取れる器械根（水深20～30mの岩礁地帯）について紹介する。イセエビの豪華な刺身料理やタコ飯を通じて、海の恵みの豊かさを伝える。

- ・ 九十九里

九十九里浜は、日本屈指のイワシ漁場として知られている。特に、カタクチイワシ（セグロイワシ）はこの地域の象徴的な魚であり、煮干やセグロイワシの胡麻漬けとして加工され、地域の食文化の一端を担っている。本コーナーでは、伝統的な漁法や、イワシの加工法を紹介する。千葉県無形民俗文化財に登録された「かいそう」という海藻（コトジツノマタ）を使った伝統料理についても紹介する。

- ・ 銚子

千葉県最東端の銚子沖は、暖流「黒潮」と、寒流「親潮」、利根川からの運ばれる栄養豊富な水が交錯することから、世界でも有数の漁場となっておりヒラメやカツオ等が豊富に漁獲される。銚子の名物である醤油と海の幸の関係や、銚子漁港の歴史、サバ料理について紹介する。

- ・ 環境問題と持続可能な漁業

現代の漁業は、環境問題との共存が求められている。このコーナーでは、海洋プラスチックや水質汚染が漁業に与える影響について解説し、持続可能な漁業への取り組み（外房のキンメダイの漁獲制限や養殖技術の向上）を紹介する。

<第2企画展示室>海のめぐみ今昔：貝塚、古文書、古写真

縄文時代から房総半島に生活していた人々は海の恵みを享受してきた。ここでは、貝塚から出土した貝や魚の骨などを通じて、古代の海産物利用の歴史を紹介する。また、古文書等に残る海の幸、昔の漁業の様子などを古写真等で紹介する。

8 関連行事

(1) オープニングセレモニー

令和7年7月12日（土）

(2) シンポジウム・講演会・講座

- ・ 講演会「さかなクントークショー」
- ・ 講演会「私が食べてきた房総の海の幸（仮題）」
講師2名（予定）

- (3) グルメイベント
- (4) 水産総合研究センターとの連携事業（予定）
- (5) 観察会
 - ・地引網もしくははすだて漁体験
 - ・磯の観察会
- (6) ミュージアム・トーク
 - 会期中の毎週土曜日に、学芸員による展示解説を行う
 - 開催日 令和7年7月19日、26日、
8月2日、9日、16日、23日、30日、9月6日、13日、
20日
 - 時間 11:00～、14:30～、所要約30分
- (7) 体験イベント
 - ・お料理教室3回
 - ・にぼしで学ぶ魚のひみつ
 - ・貝の解剖観察
 - ・ペーパークラフト
 - ・貝合わせ
 - ・大漁旗づくり
- (8) 関連イベントその他
 - ・スタンプラリー
 - ・キッチンカー

9 印刷物

- (1) チラシ
- (2) ポスター
- (3) 図録
- (4) ワークシート

10 後援・協力（予定）

- (1) 後援 朝日新聞社、NHK 千葉放送局、千葉テレビ放送、千葉日報社、
BayFM78、毎日新聞社、読売新聞東京本社
- (2) 協力 アリオ蘇我、京葉銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、そごう千葉店

展示物リスト (案)

※想定される展示物を示す

展示室	テーマ	展示物	資料形態	新規製作
第一企画展示室	東京内湾	ハマグリ	標本	
	東京内湾	アサリ	標本	
	東京内湾	ホンビノス	標本	
	東京内湾	マアナゴ	剥製	
	東京内湾	コノシロ	剥製	
	東京内湾	スズキ	剥製	
	東京内湾	海苔養殖・漁業関係資料	資料	
	東京内湾	江戸前寿司	レプリカ	
	東京内湾	江戸前千葉海苔	製品	
	東京内湾	アサリ料理	写真	
	東京内湾	ホンビノス料理	写真	
	東京内湾	バカガイの刺身	写真	
	東京内湾	はかりめ井	写真	
	東京内湾	太巻き寿司	レプリカ	
	安房	サザエ	標本	
	安房	アワビ類	標本	
	安房	カツオ	剥製	
	安房	ウツボ	剥製	
	安房	マアジ	剥製	
	安房	マサバ	剥製	
	安房	タカアシガニ	剥製	
	安房	アメフラシ	レプリカ	○
	安房	ツチクジラ	模型	
	安房	クジラ漁写真	写真	
	安房	漁労用具資料	資料	
	安房	なめろう	レプリカ	○
	安房	さんが焼き	レプリカ	○
	安房	サザエ料理	写真	
	安房	アワビ料理	写真	
	安房	鰹節	製品	
	安房	鯖節	製品	
	安房	房州ヒジキ	製品	
	安房	くじらのたれ	製品	
	夷隅	キンメダイ	剥製	
	夷隅	イセエビ	剥製	
	夷隅	マダコ	レプリカ	○
	夷隅	イイダコ	レプリカ	○
	夷隅	タコつぼ	資料	

展示室	テーマ	展示物	資料形態	新規製作
	夷隅	伊勢海老の鬼殻焼き	レプリカ	○
	夷隅	キンメダイの煮つけ	レプリカ	○
	夷隅	タコ料理	写真	
	九十九里	チョウセンハマグリ	標本	
	九十九里	ナガラミ	標本	
	九十九里	ヒラメ	剥製	
	九十九里	カタクチイワシ	剥製	
	九十九里	マイワシ	剥製	
	九十九里	ヒラツメガニ	剥製	
	九十九里	コトジツノマタ	標本・写真	
	九十九里	イワシ加工品	製品	
	九十九里	イワシ料理	写真	
	九十九里	せぐろいわしの胡麻漬け	レプリカ	○
	九十九里	カISOウ	レプリカ	○
	銚子	マサバ	剥製	
	銚子	クロマグロ	剥製	
	銚子	銚子市場写真	写真	
	銚子	サバ料理	レプリカ	○
	環境問題	キンメダイ	剥製	
	環境問題	海洋プラスチック資料	資料	
	環境問題	漁業資料	資料	
第二企画展示室		貝塚関係資料	出土物	
		文献資料	資料	
		古写真	資料	

展示台什器一覧

別紙 4

展示ケース・台	ケース記号	縦(mm)	横(mm)	高さ(mm)	数量(台)
平置き(のぞき)ケース	平-1,2,3,4,5,6	1190	1960	900	6
立ちケースA (ガラス1面)	立A-1,2,3,4,5	1190	1960	2540	5
立ちケースB (ガラス3面)	立B	1490	1490	2540	1
立ちケースC (ガラス1面・木製・底低・内側布張り)	立C-1,2	1190	1800	2540	2(内1故障)
立ちケースD (ガラス1面・木製・内側紙張り)	立D-1,2	1190	1800	2540	2
宝石ケースA	宝A-1,2	600	1800	920	2
宝石ケースB	宝B-1,2	600	1500	920	2
宝石ケースC	宝C-1,2	600	600	920	2
木製飾りケース	飾り-1,2,3				3
平置きケース	歴博-1,2,3,4	1180	1960	700	4
バレーボールケース		520	520	1200 内径400	1
アクリルケース(台付)		750	1800	1490	2
アクリルケース(台無A)		400	500	300	2
アクリルケース(台無B)		400	400	300	2
アクリルケース(台無C)		300	300	300	2
平台(台車付き)		1960	1190	540	5
展示台	記号	幅(mm)	奥行(mm)	高さ(mm)	数量(台)
斜台(最小)	SST	750	375	200+280	4
斜台(小)	ST01	750	600	100+300	1
斜台(小)	ST02	750	500	100+300	1
斜台	T	750	750	200+280	8
斜台	T	880	750	200+280	1
斜台(中)	MT	900	900	30+200	2
斜台(大)	LT	1200	1100	100+300	1
斜台(大)	LT	1240	1100	100+280	1
斜台(大)	LT	1500	800	200+570	1
長方形	R	900	750	150	4
長方形<(大)	R	1100	750	100	2
四角<(極大)	VLR	1100	1100	300	1
長方形<(極大)		1600	450	200	1
長方形<(極大)		2450	500	150	10
サイコロ(踏み台型)1		750	450	460	38
サイコロ(踏み台型)2		750	350	320	38
マネキン/トルソー/衣桁	記号	幅(mm)	奥行(mm)	高さ(mm)	数量(台)
成人男性黒(全身・可変式手足)				1750	1
成人男性黒(頭無・可変式手足付)				(最大)1880	1
成人男性白(頭無・トルソー)				680	2
子ども白(全身)				140	2
衣桁		1330	250	1505	3